

藤里町の学校教育について

～これまでの経過と考察～

藤里小学校が開校から42年、藤里中学校は46年が経過する中で、平成22年度には両校耐震化に係る改修を終えたものの、依然、上下水道配管や和式トイレの全面的な入れ替えなどの衛生面をはじめとする施設に係る問題や、中学生の区域外への就学件数の増加に対し、「定例教育委員会」においても、その要因や対策について協議を重ねてまいりました。

近年学校間で取り組んでいる「小中連携」は、児童生徒がさまざまな取り組みにおいて連携して活動することで、地域とのつながりや住民とのふれあいの中で自分が必要とされているという気持ちを育むことができ、また、児童生徒それぞれが自分の役割を意識した行動が見られるなど、藤里町の学校教育の方針にかかげる理念を目指すうえで非常に重要な活動であることが証明されています。



子供たちが学ぶ環境である「教育エリア」について、今後どのように確立すべきか、先のアンケートや広報紙に掲載した「小中一貫教育」を一つの方策として皆さまに情報を提供しておりますが、その際の意見や要望を踏まえながら、平成28年度は、藤里町教育委員、保護者、学校関係者や藤里町議会議員、学識経験者などによる「諮問委員会」を設け、現在秋田県内で開設する同規模のさまざまな学校形態も参考に、藤里町にとってどのような「かたち」が適切なのかについて意見を取り交わします。

住民の「意」を汲みつつ、児童生徒が心豊かに思いやりや希望をもって学校生活を送れるよう、取り組みを進めてまいりますので、住民の皆さまにおかれましては、引き続きなお一層のご協力をよろしくお願いいたします。



情報については、これからも随時「町広報紙等」でお知らせします。

【藤里町教育委員会（☎79-1327）担当：学校教育係】

「教育長」コラム

出会の春、学びの春です。教育現場から、新年度スタッフのご紹介をさせていただきます。

今年度、保育園は「浅利七恵」園長、幼稚園は「市川久美子」園長を中心としてのスタートです。

また、小学校は「高橋直樹」校長を中心に「福司朝子」教頭を迎え、また、中学校は「板倉和也」校長を中心に「加藤友久」教頭を迎えてのスタートとなりました。小・中どちらも地元の教頭先生をお迎えしております。

保・幼・小・中と連携を取りながら、子供達の教育に努めてまいりますので、どうぞ宜しく、お願い致します。

教育委員会としても、町のお祭りやイベントに「花」を添えてくれる子供達の存在の大きさを痛切に感じております。

子供は「ひまわり」のようであり、大人を元気づけてくれます。

それぞれの子供の「花」を大切に育てたいと思っております。（浅利）